

KODEN

スポットクーラー

取扱説明書

産業用《保証書付》

型式

KES

252GBB

排熱ダクト付き

このたびは当社の製品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

目次

- ①製品の仕様
- ②安全上のご注意
- ③組み立て方法
- ④正しい使い方
- ⑤連続排水について
- ⑥お手入れと保管
- ⑦「故障かな?」と思ったら
- ⑧保証とアフターサービス

① 製品の仕様

| 型 式 | KES252GBB | |
|---------------------------------|---|---------------------|
| 定 格 | 単相 AC100V | |
| | 50Hz | 60Hz |
| 冷房能力 (kW) | 2.2 | 2.5 |
| 消費電力 (kW) | 1.2 | 1.4 |
| 冷房エネルギー消費効率 | 1.83 | 1.78 |
| 始動電流 (A) | 59 | 56 |
| 運転電流 (A) | 13.5 | 13.6 |
| 力 率 (%) | 85 | 99 |
| 風量 (m ³ /min)/冷風側(強) | 5.7 | 6.1 |
| 圧 縮 機 | 全閉型ロータリー (出力0.91kW) | 全閉型ロータリー (出力0.95kW) |
| 設 計 圧 力 (MPa) | H4.2 L2.1 | |
| I P コ ー ド | IP20 | |
| 定格機外静圧 (Pa) | 0 | |
| 冷風吹出 温度差 (°C) | 10 | 12 |
| 除湿水の処理方法 | 5リットルドレン用ポリタンク | |
| 冷 媒 | HFC R32 (GWP値: 675) | |
| 冷媒封入量 (g) | 320 | |
| 圧縮機保護装置 | オーバーロードプロテクター | |
| 外形寸法(mm)*ダクト含まず | 約幅390×奥行430×高さ800 | |
| 質 量 | 約35 kg | |
| 消費電力量(1時間あたり) | 約1.2kWh | 約1.4kWh |
| 使 用 環 境 | 18°C~45°C (対人用) | |
| 電 源 コ ー ド 長 | 約1.6m | |
| 延長コード使用の場合 | 延長コード使用制限 (電線の長さ15m以内、公称断面積2.0mm ² 以上) | |

●冷房能力、電気特性および消費電力量は室温37°C相対湿度60%強冷風運転の条件で運転したときの値です。(JRA4040規格準拠)

この商品は日本国内専用です。

FOR USE IN JAPAN ONLY



621263800

② 安全上のご注意

記号の絵表示について

人への危害や財産の損害を未然に防ぐための重要な内容です。必ずお守りください。








★誤った使い方をされたとき生ずる被害を2つに区分

| | |
|---|------------------------------|
|  警告 | ①人が死亡や重傷を負うおそれがある内容 |
|  注意 | ②人が傷害を負うおそれや財産の損害を負うおそれがある内容 |

・本文中の絵表示の表す意味です。







| | | |
|----------------------|---|----------|
| してはいけない「禁止」の内容です。 |  | 一般的な禁止 |
| |  | 分解禁止 |
| |  | ぬれ手禁止 |
| 必ず実行していただく「強制」の内容です。 |  | 必ず行う |
| |  | 電源プラグを抜く |
| |  | アースを取付ける |

警告











-  **交流 100V 以外での使用はしない。**
漏電・感電・火災などの原因になる。
-  **電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。**
電源コードが破損し、火災や感電の原因になる。
-  **次の場所や屋外では使用しない。**
感電、ショート、および火災、爆発のおそれがある。また、事故や故障の原因になる。
 - ・火花が散るような場所
 - ・雨や水しぶきのかかる場所
 - ・油や油煙が製品に直接かかる場所
 - ・ガスや蒸気、化学物質などの爆発性粉じんが発生する場所
 - ・灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、塗料など引火性のものがある場所
 - ・砂ほこり、綿ほこり、金属粉、木粉の多い場所
-  **アルミニウム・亜鉛・マグネシウム・チタンなどの爆発性粉塵・ガス蒸気等の近くでは使用しない。**
爆発・火災の原因になる。
-  **本体の上に水などの液体の入った容器を置かない。**
こぼれた水などで電気絶縁が悪くなり、感電・漏電火災などの原因になる。
-  **絶対に改造しない。**
火災・感電・ケガのおそれがある。
-  **分解・修理をしない。**
故障や水漏れ火災・感電・ケガのおそれがある。お買い上げの販売店にご依頼ください。

② 安全上のご注意(つづき)

警告












-  **定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する。**
他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱し発火するおそれがある。
本機を安定してご使用いただくには、30A以上のコンセントでの使用を推奨します。
-  **水平で硬い安定した場所に設置する。**
また、本体は横倒しにしない。水漏れのおそれがある。
-  **電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る。**
電源プラグにほこりなどがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になる。
-  **包装用ポリ袋は子供の手の届かない場所に保管する。**
顔に貼り付いたり巻き付いたりし、窒息による死亡やケガの原因になる。
-  **お手入れ、取付のときは、電源プラグをコンセントから抜く。**
ぬれた手で抜き差ししない。
感電のおそれがある。
-  **アースを確実に取付ける。**
故障や漏電のときに感電するおそれがある。

注意

-  **電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。**
コードが発熱して火災の危険がある。必ず伸ばした状態で使用する。
-  **電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。**
感電やショートして発火することがある。
-  **電源プラグにピンやゴミを付着させない。**
感電やショートして発火することがある。
-  **船舶・車両等の空調用として使用しない。**
水漏れ・漏電の原因になる。
-  **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。**
感電やショートして発火するおそれがある。
-  **動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に必ず点検修理を依頼する。**
感電・漏電・ショートなどによる火災のおそれがある。
-  **使用しないときおよび、お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く。**
ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になる。
-  **電源コードに重量物をのせたり、挟み込まない。**
電源コードが破損し、火災や感電の原因になる。
-  **延長コードを使用するときは、延長コードの公称断面積が 2.0mm²以上かつ長さが 15m 以内のものを使用する。**
コードが発熱して火災の原因になる。
-  **物理的衝撃をあたえない。**
落下や衝撃により、内部の構造が損傷することがある。

② 安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

-  **振動のある場所や傾斜のある場所で使用しない。**
転倒などによりケガや事故の原因になる。
-  **冷風を長時間身体にあてない。**
体調悪化・健康障害になる。
-  **排熱口・冷風吹き出し口や底面に指や手を入れない。**
ケガをする原因になる。
-  **運転可能条件範囲内で使用する。**
感電・火災・故障の原因になる。
18℃～45℃の雰囲気内で使用する。
-  **フィルターに紙や物を貼らない。
定期的にフィルター部の掃除を行う。**
ゴミ、油分などが付着すると目詰まりにより、霜の発生・水滴吹き出しの原因になる。
-  **移動する時は、必ず取っ手を持って移動する。**
ケガをする原因になる。
-  **運転時はキャスターのストッパーをかけ、本体が動かないように固定する。**
ケガや事故の原因になる。
-  **搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業をする。**
落下・破損などによりケガをする原因になる。
-  **運搬時や保管時は、横向きにしない。**
本体故障の原因になる。
-  **人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝もまげて
持ち上げるようにする。**
腰を痛める原因になる。
-  **保管する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。**
感電やケガの原因となる。

■ フロン排出抑制法について

本製品は第一種特定製品でフロン排出抑制法の対象機種です。本製品の管理者(所有者)には、定期点検が義務付けられています。
詳しくは添付の【フロンガス排出抑制法と機器点検・廃棄について】をお読みのうえ、定期点検をお願いします。

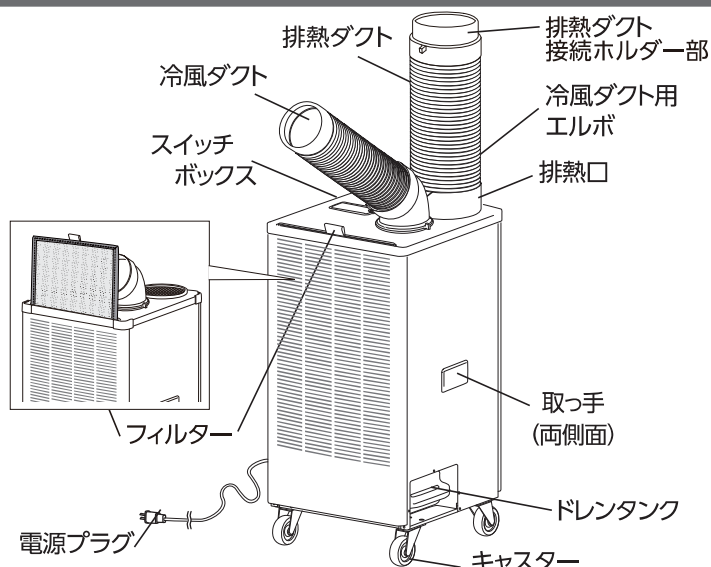
■ 廃棄について

本製品はフロンガスが使用されており、フロン排出抑制法における第一種特定製品として扱われます。
廃棄するときは下記にご注意ください。

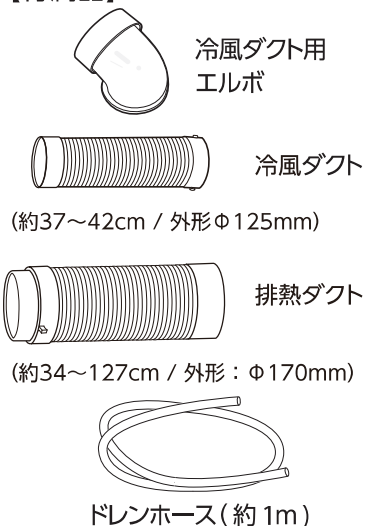
※本製品は、特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の適用製品ではありません。廃棄する場合は、専門の回収業者に委託し適切に処理してください。廃棄についてご不明な点は、各地方自治体の窓口にご相談ください。

③ 組み立て方法

各部の名称



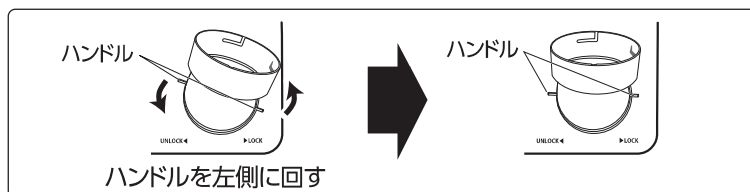
【付属品】



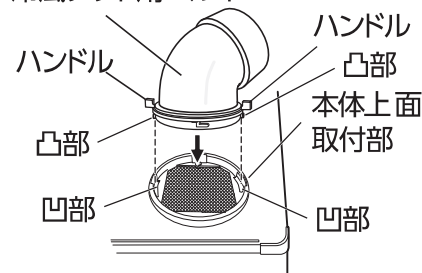
冷風ダクトの取付け

冷風ダクト用エルボを取り付ける

- 冷風ダクト用エルボの凸部を本体上面取付部の凹部に合わせて奥まで差し込み、両手でハンドルを左側(lockの方向)に止まるまで回すと取り付けられます。

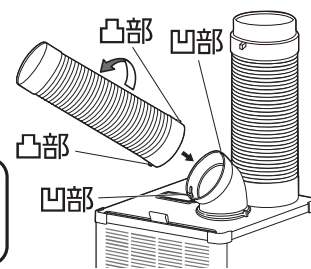


冷風ダクト用エルボ



冷風ダクトを取り付ける

- 冷風ダクト用エルボの凹部と冷風ダクトの凸部を合わせて奥まで差し込み、左側に止まるまで回すと取り付けられます。



注意

- 一度装着した冷風ダクト用エルボの取り外しはひかえてください。
- 冷風ダクトの吹き出し口をふさいだり物を入れたりしないでください。
- 冷風ダクトは付属の物以外は使用しないでください。

排熱ダクトの取付け

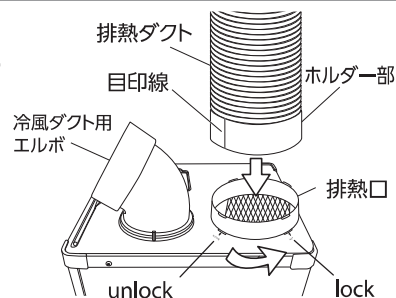
排熱口に、排熱ダクトを差し込む

排熱ダクトのホルダー部を両手で持ち、ホルダー部の目印線を本体のunlock表示に合わせて奥まで差し込み、lock表示位置までまわしてください。



注意

- 排熱ダクトの中にものを落としたり、棒などを入れないでください。内部を傷めたり、故障の原因になります。
- 排熱口を塞がないでください。機能を妨げ、故障の原因になります。



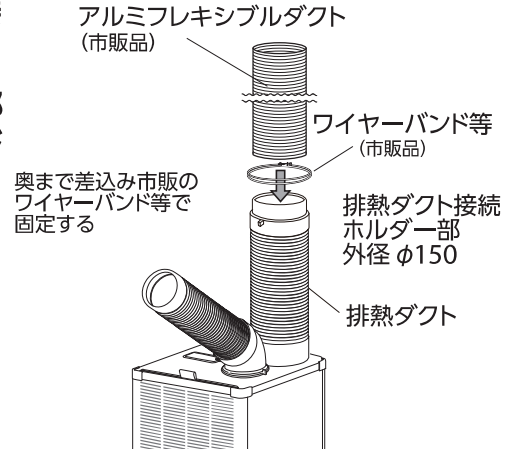
③ 組み立て方法(つづき)

市販品アルミフレキシブルダクトの取付け

市販品のアルミフレキシブルダクトを排熱ダクトに直接取付けることができます。

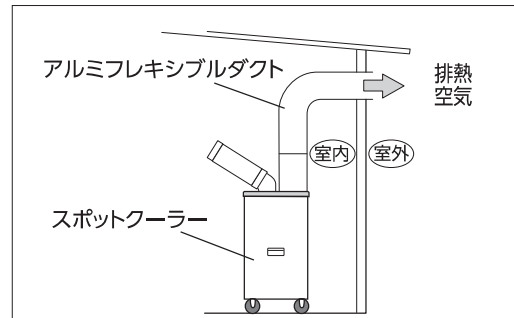
アルミフレキシブルダクトを排熱ダクト接続ホルダー部(外径φ150mm)の奥まで差し込み市販のワイヤーバンド等で固定します。

※別売品の延長排熱ダクト(KEA02B)も用意しております。



⚠ 注意

- アルミフレキシブルダクトの長さは3m以内にしてください。
冷房効率が下がります。
- 壁などに穴を開けて排熱ダクトを設置する場合は、工事業者などにご依頼ください。
雨漏りなどのトラブルの原因になります。
- 排熱ダクトの中にものを落としたり、棒などを入れないでください。
内部部品を傷めたり、故障の原因になります。
- 排熱口を塞がないでください。
機能を妨げ、故障の原因になります。

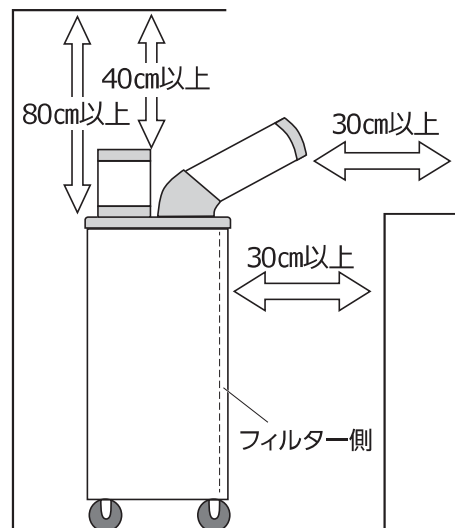


本体の設置

- フィルター・冷風ダクトは吹き出し口から30cm以上、離して設置してください。
- フィルターは前面のみですので、壁に寄せて設置できます。

⚠ 注意

- フィルターの前面、冷風ダクト・排熱口の吐出し方向に障害物を置かないでください。
- 排熱ダクトからは熱風が排出されますので、熱に弱いもの等に直接熱風が当たらないように注意してください。
- 塩酸・硫酸等、著しく金属を腐食させるガスや蒸気が存在する場所に設置しないでください。ガス漏れや、性能を低下させる恐れがあります。



④ 正しい使い方

本体と電源の接続

1. 電源は、直接コンセントからとってください。

⚠ 注意

- 電源は直接コンセントからとるのが望ましいのですが、やむを得ず延長コードをご使用になる場合は、右表に従ってご使用ください。

延長コードの推奨規格

| 電線の長さ | 公称断面積 |
|-------|-----------------------|
| 15m以内 | 2.0mm ² 以上 |

延長コードが細かったり、長すぎたりしますと電圧降下により冷風がでないことや運転しない場合があります。

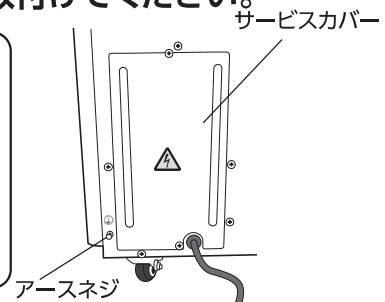
指定の延長コード以外をご使用の場合、電源コード、プラグが熱くなり、熱により変形する可能性がございます。熱く感じられる場合には延長コードのご使用をおやめください。

2. サービスカバーの左横のアースネジにアース線を取付けてください。

⚠ 注意

次のところにはアース線を接続しないでください。

- ・ガス管…爆発や引火の危険性があります。
- ・水道管…プラスチックの部分があり、アース効果がありません。
- ・避雷針・電話のアース線…落雷のときに大電流が流れ危険です。



⚠ 警告

- 電気工事、アース工事には資格が必要です。詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。
- 労働安全衛生規則第333条・第334条および電気設備の技術基準により、漏電ブレーカーの取付け・接地が義務づけられています。

「漏電ブレーカーは20A、30mA、動作時間0.1sec以内の物をご使用ください」

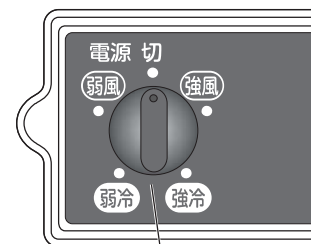
操作方法

1. 運転方法と風量調整

天板の上にある操作部のふたを開き、運転切り替えスイッチをお好みの位置に回し運転を開始してください。

⚠ 注意

- 運搬後、冷却液が落ち着くまで3時間以上時間をおいてから電源を入れてください。
- スイッチを「切」にした直後、すぐに運転を再開しないでください。また「強冷(弱冷)」から「強風(弱風)」にしたあとも、すぐに「強冷(弱冷)」に戻さないでください。必ず3分以上お待ちになってから運転をおこなってください。
 - ・保護機能が働き、冷えない(冷風がでない)場合があります。
- 電圧の低下などによる過電流や異常過熱から圧縮機(コンプレッサー)を保護するために保護機能(オーバーロードプロテクター)が作動します。



運転切り替えスイッチ

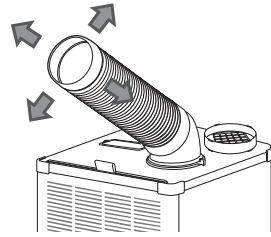
④ 正しい使い方(つづき)

操作方法(つづき)

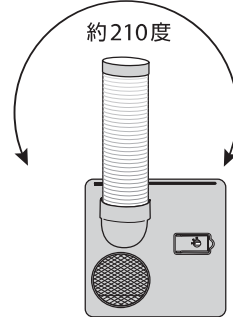
2. 風向き調整

・冷風ダクト用エルボは横方向で約210度回転し、冷風ダクトはフレキシブル性を持っていますので動作範囲内で好みの方向に調整してご使用ください。

約50度(好みの方向)



約210度



⚠ 注意

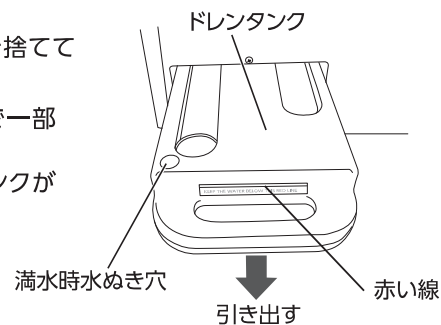
- 冷風ダクト用エルボでの風向き調節の際には、冷風ダクト部で動かすのではなく、冷風ダクト用エルボを持って動かしてください。
- 冷風ダクトの中にものを落としたり、棒などを入れないでください。
・内部部品をいためたり、故障の原因になります。

3. ドレンタンク

・除湿した水はドレンタンクに溜まりますので定期的に水を捨ててください。ドレンタンクの容量は5Lです。

※本機は、熱交換器の蒸発側で除湿した水を、凝縮側で一部蒸発させています。
この方式により、除湿水を少量に抑えたため、ドレンタンクが小型になりました。

・ドレンタンクを手前に引き出すと本体から取外せます。



⚠ 注意

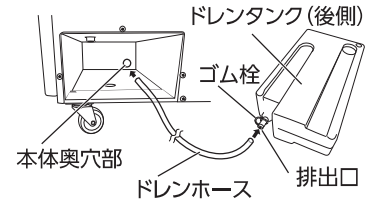
- 除湿水は満水になると本体内の水漏れ防止のため、ドレンタンクの満水時水ぬき穴より漏れだしますので、タンクの赤い線まで水が溜まりましたら、除湿した水を捨ててください。(ドレン水を検知する機能は付いておりません。)
- 除湿した水の量はドレンタンクで確認してください。
- ドレンタンクの取出しおよび、水を捨てる際に、満水時水ぬき穴から水が漏れる場合が有りますのでご注意ください。
- 除湿水量は、外気温、湿度などや熱交換器やフィルターの汚れなどで大きく変わります。特に梅雨時期など湿度の高い時期は、除湿水量が増えますので、ご注意ください。
- 良く冷えているのに、ドレンタンクに除湿水が溜まらないときは、除湿水は本機内部でほとんど蒸発している最良の状態です。熱交換器やフィルターの汚れによりドレンタンク以外に水漏れしているのでなければ、機器の異常ではありません。
- 本機を移動させる際は、除湿水が本体内に漏れますので、除湿水を捨ててから移動させてください。
- ドレンタンクは奥までしっかりと入れてください。入れ方が不十分ですと、水漏れの原因となります。

⑤ 連続排水について

操作方法

1. ドレンホース ◆ドレンタンクを収納したまま排水することができます。

- ・ドレンタンク後側のゴム栓を抜く。
- ・付属のドレンホースの片方をドレンタンク後側の排出口に強く押し込み、他方を本体奥穴部に通す。
- ・ドレンホースを本体奥穴部に通しながら、ドレンタンクを収納する。

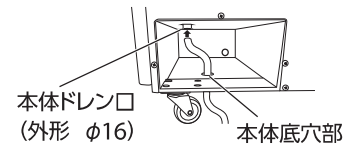


2. ドレンホースの延長 ◆ドレンタンク無しで排水することもできます。

市販のホース (内径16mm) をご用意ください。

*付属のドレンホースは取り付けできません。

- ・ドレンタンクを取り出し、本体ドレン口にドレンホースを差し込みます。
- ・ドレンホースは本体底部の穴から出して排水溝などに入れてご使用ください。



⑥ お手入れと保管

お手入れ

- ⚠ 注意** ●フィルターの掃除はこまめに行ってください。
- ・フィルターが汚れていると、冷房能力が低下するとともに、本体内部が結露し、故障の原因となります。

お手入れのタイミング

季節のはじめには必ず掃除し、ご使用中は2週間に1回以上は掃除してください。

お手入れ方法

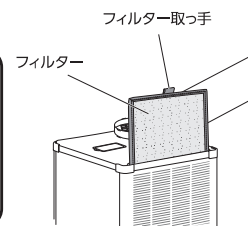
1. フィルターのお手入れ

- ・必ず電源を切り、コンセントを抜いてください。
- ・フィルターを外せる位置まで冷風ダクトを回転させフィルターを上引き上げ外してください。
- ・フィルターのホコリを電気掃除機などで吸ってください。
- ・汚れのひどいときは、水洗いしてください。
- ・フィルターは、完全に乾かしてから取付けてください。
- ・熱交換器などの内部清掃はお買い上げ店舗にご相談ください。

2. 本体のお手入れ

- ・やわらかい布などを水またはぬるま湯に浸し、かたくしぼってから使用ください。
- ・汚れのひどいときは、台所用中性洗剤を薄めた水またはぬるま湯を使用してください。その場合、乾いた布などできれいに拭き取ってください。

- ⚠ 注意**
- 直接水をかけて掃除することは、絶対にしないでください。
 - ・電気絶縁が悪くなり、ショート・感電・火災の原因となります。
 - シンナー・ベンジン・薬品・みがき粉等を使用しないでください。
 - ・塗装面をいためたり、故障の原因になります。
 - 化学ぞうきんを使用の場合は、その注意書に従ってください。

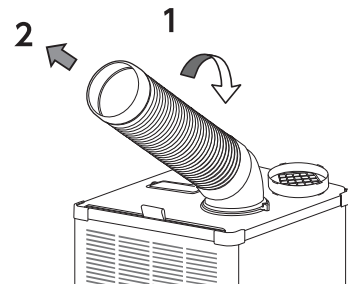


修理・保管等で取外す場合のご注意

冷風ダクトを取外す

本体から、冷風ダクトを取外す際は、冷風ダクトをゆっくり右側へ止まるまで回し引抜いてください。

- ⚠ 注意**
- 一度装着した冷風ダクト用エルボの取外しは、ひかえてください。



⑥ お手入れと保管(つづき)

保管

- 「お手入れ」方法に従って、お手入れしてください。
- ドレンタンク内の水を捨てて、中を乾燥させてホコリなどが溜まらないように保管してください。
- 1時間ほど本体内部を乾燥させてください。
- ホコリがたまらないように適当なカバーをかけてください。
- 部品をなくさないように、保管してください。
- お子様の手の届かないところに保管し、湿度の高いところ、風雨にさらされるところ、直射日光の当たるところはさけてください。



注意

- 保管するときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
・感電やケガをする原因となります。
- 本機を横倒しで保管しないでください。
・再始動のとき、コンプレッサーなどの故障の原因になります。

※熱交換器、シロッコファンなどの内部清掃は、お買上げの販売店または保証書に記載されている当社「商品についての全般的なご相談」窓口にお問い合わせください。

⑦ 「故障かな?」と思ったら

修理を依頼される前にお確かめください。

| 症 状 | お確かめください |
|--------------------|--|
| スイッチを入れても 運転しない | 電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか? 停電ではありませんか? ブレーカーが切れていませんか? コンセントを複数の電化製品で使用されていませんか? ⇒単独でご使用ください。 延長コードを使用されていませんか? ⇒④正しい使い方に記載の延長コードで単独でご使用ください。 運搬後、直ぐに電源を入れていませんか? ⇒冷却液が落ち着くまで3時間以上時間をおいてから電源を入れてください。 |
| 冷えない | 保護機能(オーバーロードプロテクター)が作動中ではありませんか? ⇒一度電源を切り、数分(3分以上)お待ちいただき、再度電源を入れてください。 フィルター・冷風吹き出し口・排熱口が障害物でふさがれていませんか? フィルターが汚れていませんか? 周囲の温度が45℃をこえていませんか? ⇒本機は18℃~45℃の範囲でご使用ください。 熱交換器が目づまりしていませんか? ⇒熱交換器の内部清掃が必要な場合は、お買上げの販売店にご相談ください。 |
| 水が漏れる | ドレン口やドレンホースがつまっていますか? ドレンタンクが満水ではありませんか? ドレンタンクが正しくセットされていますか? 熱交換器が目づまりしていませんか? ⇒熱交換器の内部清掃が必要な場合は、お買上げの販売店にご相談ください。 |
| 霜が付く | 周囲の温度が18℃未満ではありませんか? ⇒本機は18℃~45℃の範囲でご使用ください。 フィルターが汚れていませんか? 熱交換器が目づまりしていませんか? ⇒熱交換器の内部清掃が必要な場合は、お買上げの販売店にご相談ください。 |

⑦ 「故障かな?」と思ったら(つづき)

次のような場合には点検・修理が必要です。

長年ご使用のスポットクーラーは点検を!

ご使用の際このようなことはありませんか?

- スイッチを入れても時々運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

上記症状がなくても、お買い上げ後 4~5年程度たちましたら、安全のため点検をご依頼ください。点検費用につきましては販売店にご相談ください。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてからお買い上げの販売店にご相談ください。

※お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険ですので絶対におやめください。

⑧ 保証とアフターサービス

1. 保証書

- この製品には保証書がついています。保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日などの記入をご確認のうえ、内容を良く読み、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 内部をさわらずにお買い上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。
- 破損箇所をさわらずにお買い上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときはお買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

- この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打切後6年としております。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- 修理サービスや商品についてのご相談は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、保証書に記載の当社までお問い合わせください。

保証書

この保証書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。

| | | | | | |
|------|---------------|-------------------|-----------|---|-----|
| 品名 | スポットクーラー | 型式 | KES252GBB | | |
| 保証期間 | 1年間 | | ★お買上日 | 年 | 月 日 |
| ★お客様 | ご住所 | 〒 TEL | | | |
| | お名前 | 様 | | | |
| ★販売店 | 住所・店名 電話番号 | 販売店印又は保証書・レシート添付欄 | | | ㊞ |

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上の日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体銘板その他の注意書きに従った正常な状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、お買上の販売店が無償修理いたしますので、製品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上の販売店にご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有償修理になります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買上後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買上日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- ご転居の場合は事前にお買上の販売店にご相談ください。
 - ご贈答品等で本書に記入してあるお買上の販売店に修理を依頼されることができない場合には、本書記載の当社にお問合わせください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

●この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上の販売店または本書記載の当社にお問合わせください。

商品についての全般的なご相談
☎ フリーダイヤル
受付時間：平日9:00～17:30

0120-295-595

KODEN

株式会社広電

東京都豊島区東池袋1丁目32番7号
〒170-0013 <https://koden-j.com/>